

6/12～7/9 さかなと海ふれあい体験学習

町では、小中学生を対象に、海の恵と漁業の魅力を伝える「さかなと海ふれあい体験学習」を、今年も開催しました。

中泊活ハマクラブが主催し、令和8年6月12日から7月9日にかけて町内の小中学生が参加し、海の生き物や漁業について学び、釣り体験や調理体験等を通して、町の基幹産業である漁業への理解を深める貴重な機会となりました。

体験学習は、令和元年度から続く8回目の開催となり、子どもたちが地域の大切な資源である海や漁業に親しみ、関心を抱くきっかけを創出することを目的としています。

参加した児童生徒からは、「普段できない釣り体験ができて、とても面白かった!」「海のことにもっと興味がわいた」といった声が寄せられました。



7/29 町内の小中学生が活躍! ～大会出場を報告～

町内で部活動やクラブ活動を行う小中学生が東北大会等への出場を決め、中泊町役場を表敬訪問し、全力で健闘することを誓いました。

濱館町長は「中泊町に関わるみなさんがスポーツに打ち込んでいる姿はとてもたくましい。選手のみなさんそれぞれが掲げる目標を達成できるように全力で挑んできて欲しい」と話し、鈴木教育長は「みなさんが日頃の練習に打ちこんでつかんだ大会出場の切符、勝負なのでもちろん勝ち負けはあるが、一生懸命取り組むその瞬間を大事にしてほしい」とエールを送りました。

出場する大会は次のとおりです。



【出場する大会】

- ・第15回東日本都道府県小学生陸上競技交流大会・北海道函館大会(中里陸上クラブ児童6名)
- ・第45回東北学童相撲大会・JOCジュニアオリンピックカップ東北ブロック予選会(中泊道場児童3名)
- ・第24回全日本女子軟式野球学生選手権大会(中高生の部)、第11回全日本中学女子軟式野球大会SPトーナメント(青森ゴールデンボンバーズシニア生徒1名)
- ・文部科学大臣杯 NPBガールズトーナメント2026 全日本女子学童軟式野球大会(青森ゴールデンボンバーズ児童1名)
- ・令和8年度東北中学校体育大会

《陸上競技》中里中生徒2名、小泊中生徒1名 《相撲競技》小泊中生徒1名 《柔道競技》中里中生徒1名

7/27

つがるにしきた農協から鳥獣被害の支援をいただきました



近年頻発する鳥獣被害の対策に役立てようと、つがるにしきた農協(成田春光組合長)から町にクマ用の箱罾やクマ避け花火などが贈られました。

町長室前で行われた贈呈式では、成田組合長から町長に贈呈品の目録が手渡されました。

町長は「ご支援ありがとうございます。近年国内で増え続けるクマの被害を当町で出さないためにも、協力に感謝し、有効に使わせてもらいます」と感謝をのべました。

8/5

～ 8/7 福島町×中泊町 こども青函圏交流事業を実施しました

北海道福島町と中泊町の包括連携協定に基づく「こども青函圏交流事業」を実施しました。両町の小学校5・6年生が参加し、横綱記念館見学や岩部クルーズ乗船体験、地域体験を通じて交流を深め、郷土への理解と友情を育みました。

参加した児童は、班で協力して行動する中で自主性や相手への思いやりを育みました。

現地学習では、豊かな自然環境がおりなす「青の洞窟」で有名な岩部クルーズなどを訪れ、地域の歴史や自然に直接触れた多くの児童が「また来たい」「違う町の友だちができた」と話し、普段とは違った体験によるこんでいました。宿泊を伴う体験を通じ、生活面でのルールや時間管理の重要性も学びました。

「こども青函圏交流事業」は昨年の中泊町開催に引き続き、2回目の実施となります。



8/7

三者協定を締結 ～教育とスポーツの振興を誓う～



町とヴィーナ・エナジー・ジャパン株式会社、株式会社ブランデュー弘前が、教育とスポーツ振興を核とした、地域の発展や人材育成を目指して「教育及びスポーツ振興等に関する連携協定」を締結しました。

協定締結式では、ユニフォーム贈呈・交換、記念写真の撮影を行い、これからの連携に向けて笑顔で協定書へ署名を行いました。

また、この日は締結式のほか中里地域の小学生を対象としたサッカー教室や協定締結企業によるフットサル交流試合も行われ、協定に調印する3者の交流も深めました。